

第16回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

1. 日 時 令和元年10月23日（水） 18:30～19:10
2. 会 場 エコーセンター2000 3階 視聴覚室
3. 出席者 吉田委員（座長）、山崎委員（副座長）、菊地委員、松川委員、成瀬委員、原本委員、張山委員、前田委員、二宮委員、明神委員、成田委員、平出委員

（北村課長）

ただ今より「第16回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催いたします。開催にあたり、網走市企画総務部長の岩永よりご挨拶申し上げます。

（岩永部長）

網走市企画総務部長の岩永と申します。

本来であれば、水谷市長がご挨拶をさせていただくところですが、本日別の用務のため出席がかないませんので、代わりに私から一言ご挨拶を申し上げます。

本日は大変お忙しい中にもかかわらず、網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には日ごろからそれぞれのお立場から地域振興にご尽力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

今回、関係の団体から17名の皆様に、また、公募委員として2名の方にご就任をいただきました。公私ともにご多忙のところ大変恐縮でございますが、改めてご協力を賜りたいと存じます。

さて、人口減少に歯止めがかからない中、1つの自治体だけで行政サービスを維持することが困難になるということが懸念されておりますが、定住自立圏構想は住み慣れた地域にいつまでも暮らし続けるために必要なさまざまな機能を、両市町が補完し合いながらフルセットで確保していくという考え方から、地域の持続的な発展に大きく寄与するものでございます。

大空町と網走市は平成23年度に「定住自立圏形成協定」を締結し、同年に「網走市大空町定住自立圏共生ビジョン」を策定し、現在9年目を迎えております。この共生ビジョンは、圏域の将来像や、両市町が連携・協力する具体的な取り組みを定めるなど、行政運営の指針にもなっておりますことから、委員の皆様からのご意見などを伺いながら協議を進めてまいりました。

本日も委員皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(北村課長)

続きまして、委員の改選がございましたので、委員の皆様をご紹介しますいただきます。

こちらから順に、女満別中央病院 菊地勝委員でございます。網走市社会福祉協議会 山崎徹委員でございます。大空町社会福祉協議会 松川一正委員でございます。網走市社会教育委員の会議 成瀬三津子委員でございます。大空町社会教育委員の会議 原本光枝委員でございます。大空町商工会 張山哲夫委員でございます。女満別町農業協同組合 前田英典委員でございます。網走市観光協会 二宮直輝委員でございます。網走バス株式会社 明神健太委員でございます。網走観光交通株式会社 成田裕行委員でございます。東京農業大学生物産業学部 吉田穂積委員でございます。大空町公募委員 平出靖委員でございます。

なお、網走厚生病院 井田和宏委員、網走商工会議所 川畑学委員、網走漁業協同組合 吉田裕次委員、西網走漁業協同組合 尾居昭人委員、オホーツク網走農業協同組合 乾雅文委員、オホーツク大空町観光協会 中山登委員、網走市公募委員 長井寿公委員は、本日ご都合により欠席されております。

皆様の委嘱期間は、令和元年9月1日から令和3年8月31日までの2年間となっております。お手元に委嘱状を配付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

続きまして、事務局を紹介いたします。私は、網走市企画調整課長の北村でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。同じく、網走市企画調整課企画係の佐々木係長です。同じく、企画係の中野主事です。同じく、企画係の新井田主事です。大空町総務課の林参事です。同じく、総務課政策グループの佐々木主査です。

続きまして、次第の3「座長・副座長の選出」に入らせていただきます。座長選出までの間、網走市の岩永部長が仮議長として議事を進行させていただきます。

(岩永部長)

それでは座長選出までの間、私が議事を進めさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。

はじめに、座長の選出につきまして、お諮りをいたします。懇談会設置要綱第5条の規定により、座長は委員の互選にて定めることとなっております。どのように執り進めればよろしいかご意見を伺いたいと存じます。

<「事務局一任」の声あり>

(岩永部長)

ただ今「事務局一任」という意見を出していただきました。よろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(岩永部長)

それでは事務局から提案をお願いいたします。

(北村課長)

事務局より提案をさせていただきます。座長に東京農業大学の吉田委員を推薦させていただきます。

(岩永部長)

ただ今事務局から吉田委員を座長にとの提案がございましたが、いかがでしょうか。

<「異議なし」の声あり>

(岩永部長)

異議がございませんので、座長は吉田委員をお願いいたします。吉田委員には、席の移動と今後の進行をお願いいたします。

(吉田座長)

ただ今座長に選出されました東京農業大学の吉田と申します。恐縮ですが、議事は座ったままで進行させていただきたいと思っております。

それでは、議事を進めさせていただきます。まず副座長の選出ですが、懇談会設置要領第5条の規定により、座長が指名することになっておりますので、私から指名させていただきます。副座長は、網走市社会福祉協議会の山崎委員をお願いしたいと存じます。山崎副座長には、席の移動とご挨拶をお願いいたします。

(山崎副座長)

ただ今座長よりご指名のありました山崎です。よろしくをお願いいたします。

(吉田座長)

それでは、次第の4「議事」に入ります。(1)「第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンに係る成果指標の進捗状況」について、事務局から説明をお願いします。

(北村課長)

はじめに、定住自立圏構想と共生ビジョンの趣旨について、簡単に説明させていただきます。事前に送付しております「共生ビジョン」の1ページをご覧ください。上段に記載がありますが、定住自立圏構想とは、住民の生活環境が

密接に関係している地域を一つの圏域として捉え、定住のために必要な生活機能を圏域、総体として確保しようとするものでございます。本制度の財政的なメリットといたしましては、国の特別交付税措置や補助事業の採択において優遇措置がございます。

次に、2ページの下から3行目をご覧ください。共生ビジョンとは、圏域の将来像や具体的な取り組みを定めたものでございまして、圏域住民がゆとりと潤いを実感し、安心して子育てができる環境を整え、子供や若者が夢と誇りを持ってこの地域に住み続けたいと思えるような魅力と活気に満ちた圏域の構築を目指すものでございます。

(佐々木係長)

引き続き、「共生ビジョンに係る成果指標の進捗状況」について説明いたします。別紙でお配りしておりますA4横の資料1をご覧ください。

はじめに、救急医療体制の確保です。救急医療体制の対応日数は、基準値の平成27年度で365日、平成30年度の実績値も同じく365日でございます。参考値として記載の令和元年度はうるう年であるため、366日となっております。

その下、休日救急体制の対応日数は、前年度から1日増え、73日となっております。参考値として記載の令和元年度は、5月に大型連休があったこともあり、77日となっております。

次に、2ページの産科医療機関数でございます。平成30年度の実績値は2施設、網走厚生病院と金川医院であり、状況に変化はございません。

小児科医療機関数につきましても、4施設で変わりありません。内訳は網走厚生病院、青沼医院、中山医院、角谷こどもクリニックでございます。参考値として記載の令和元年度は、青沼医院が閉院したことにより、現時点では3施設になるものと見込んでおります。

次に、3ページをご覧ください。女満別空港利用者数でございます。平成30年度の実績値は84万3,000人で、前年度を上回っておりますが、目標値には届いていない状況でございます。引き続き、国際チャーター便など、インバウンドの誘客やプロモーション活動を継続的に行っていく必要がございます。

次に、住民対象講座の受講者数ですが、平成30年度は3,565人でした。基準値を上回っているものの、目標値にはわずかに届いていない状況でございます。引き続き、地域資源を生かした特色のある講座に取り組み、受講者数の増加を図っていく必要がございます。

次に、4ページをご覧ください。藻琴川環境保全対策連絡協議会の取り組みへの参加でございますが、基準値と同一の1件でございます。同様に、網走湖環境保全対策推進協議会の取り組みへの参加でございますが、こちらも基準値と同一の1件でございます。

次に、5ページをご覧ください。下水道終末処理施設でございますが、前年度、また目標値と同一の1施設でございます。

その下、し尿処理施設につきましても同様に1施設で、前年度、また目標値と同一でございます。

次に、6ページをご覧ください。網走市、大空町合同の防災訓練の実施については目標値が1回ですが、平成30年度は実施できませんでした。担当レベルでの情報交換を行ったということですが、引き続き実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、7ページをご覧ください。子育て支援センターの利用率でございます。この数値は、網走市にあります子育て支援センターの全利用者数に対し、大空町民の利用者が何名いたかという数字です。平成30年度は大空町民の利用者が12名でしたため、実績値は2.56%です。目標値が5%ですので、引き続き、利用者増加に向けた努力が必要な状況です。

その下、認知症サポーター養成人数ですが、前年度の3,508名から平成30年度は4,018名となっております。目標値2,800名を超えている状況ではございますが、今後ますます高齢化の進展が予想されるため、引き続き養成人数の増加を図っていく必要がございます。

次に、8ページをご覧ください。事業所の従業員数でございます。指標としている経済センサス活動調査は平成28年の結果が最新でございますが、従業員確保のため、引き続き、女性の就労機会や高齢者の雇用機会の創出に取り組む必要がございます。

その下、網走湖の漁獲量です。これは3ヶ年平均でございますが、基準値が880t、平成30年度の実績値は901tでございました。

次に、9ページをご覧ください。バス路線でございます。バス路線は、7路線を維持するという目標でございまして、数値は変わっておりません。路線の内訳は、美幌線、小清水線、斜里線、女満別空港線、網走線、サロマ湖栄浦線、東京農大線でございます。

その下、お試し暮らしの体験数、これは5ヶ年平均でございますが、基準値は1年当たり9件、平成30年度の実績値は8件でございました。目標値が年間15件ですので、引き続き、移住へ向けた取り組みが必要な状況でございます。

次に、10ページをご覧ください。スポーツ合宿参加人数でございます。平成30年度は前年度を下回ったものの、目標値を超える2,336名の方に合宿に来ていただきました。引き続き、誘致活動に努めてまいります。

次に、11ページをご覧ください。大学等との連携事業数でございます。平成30年度の実績値が7件でございました。6次産業化プロデューサーの育成事業や生涯活躍のまち構築推進事業など、資料へ記載の事業に取り組んでおります。

最後に合同研修の実施回数ですが、平成30年度においては、北海道胆振東部地震の影響により開催が中止となり、実施できておりません。説明は以上でございます。

(吉田座長)

ただ今、事務局より共生ビジョンに係る成果指標の進捗状況について説明がありました。委員の皆様からご意見等を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

(平出委員)

1 ページの休日救急体制の対応日数のところで、今後の取り組みに「網走休日内科急病センターを開設する」とありますが、これは厚生病院のことでしょうか。

(北村課長)

厚生病院と網走の丘総合病院に交互に開設されるものです。

(明神委員)

バス路線のところですが、こちらに記載があるように、平成30年度実績としては7路線のままなのですが、今年度は10月より2路線が廃止となり5路線となっております。現在お客様の減少が続いており、路線を効率的に統合したり削減したり、あるいは予約型の新しいものを導入したり、そういった検討を進めております。数値目標が必要なのはわかりますが、今5路線にまで減少した目標値を7路線のままにしておくのは少し無理があるのかなと思います。圏域の皆様にはニーズに応じた移動のものをしっかりと用意したいと思います。路線数を目標値にすることのあり方も含めて、今後検討していけたらと思っております。

(北村課長)

バス路線のKPIを設定した時点では、高い目標を維持するというものがございまして、当初は7路線を維持しようというものでした。情勢の変化によって、そのようなことはやむを得ないのではないかと考えております。目標値の設定につきましては、このビジョンが令和2年度までとなっております。来年度に改定の作業が出てきます。その時点でどのようなKPIを設定したら良いのかというところをこの懇談会において協議させていただきたいと考えております。

(成瀬委員)

9 ページにお試し暮らし体験数がありますが、これは大空町と網走市との合計値です。平成30年度実績値で8件となっておりますが、お試し暮らしで終わってしまっているのでしょうか。実際に移住されているのでしょうか。

(北村課長)

このお試し暮らしは、まず移住していただきたいという前提で、試しにどうですかという取り組みでございます。網走市の場合は、実際のところお試し暮

らしから完全な移住に至っているケースはない状況でございます。ただ、毎年夏の時期に避暑地として網走に来ていただいている方がいらっしゃいます。本来的な目標としては、移住していただきたいというのが本音でございますが、完全な移住というのはなかなかハードルが高いです。あとは、市を介さずに自ら移住されている方がいらっしゃると思いますが、その実数までは把握できていない状況でございます。

(林参事)

大空町も網走市と同様でありまして、お試し暮らしに来ていただいた方が移住に直接結びつくということはなく、どちらかと言いますと、夏の暑い時期に来ていただいて、二地域居住をしているケースが多い状況でございます。

(成瀬委員)

4ページに藻琴川環境保全対策連絡協議会の取組への参加と網走湖環境保全対策推進協議会の取組への参加がありますが、これは協議会の開催が1回という意味なのでしょうか。

(北村課長)

協議会としては幹事会や環境美化活動、環境啓発活動、現地調査活動を行っていますが、それに市の担当部署が参加したのが年1回だということです。

(原本委員)

7ページの下に認知症サポーター養成人数とありますが、平成30年度実績値で4,018名の方がいらっしゃいます。主にどのようなことをされているのでしょうか。

(中野主事)

認知症サポーターについてですが、介護施設やケアマネージャーの方を対象とした講義や研修を開催し養成している制度でございます。決められた数の研修を受けて、認知症の方との接し方やお世話の仕方をしっかりと身に付けることを目的にしております。認知症の方への理解を皆様にしていただくということで取り組んでおります。研修を終えた方にはオレンジ色のリングをお渡しして、身近に認知症の方がいて悩んでいる方や困っているご家族がいたら相談に乗るなどの活動をしております。このリングは、実際に着けている方を見た場合、気軽に声をかけてくださいという目印にもなっております。

(吉田座長)

それでは、続きまして、(2)「共生ビジョンの一部改正」について、事務局から説明をお願いいたします。

(佐々木係長)

「第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの一部改正」について説明いたします。資料2をご覧ください。

この改正は、斜網地域の脳血管疾患による急性期医療体制を維持するため、本定住自立圏において取り組むべき事業について、ビジョンの一部を改正しようとするものでございます。

具体的には、斜網地域のセンター病院である網走厚生病院へ、脳血管疾患に係る診療科の開設、急性期医療体制及び病棟を確保する取り組みを想定したものでございます。

改正点は4点です。新旧対照表と併せてご覧ください。1つは、ビジョンの14ページ、医療分野に係る「圏域の現状と課題」において、圏域の医療体制の動向に応じ、必要な対応が求められている現状にあることの文言の追加です。

2つ目は、ビジョンの20ページ、医療政策に係る「今後の方向性」において、医療従事者の確保と合わせて医療体制の構築にも取り組んでいくことの文言の追加です。

3つ目は、ビジョンの28ページ、医療分野で具体的に取り組む事業のうち「地域センター病院・地域基幹病院等支援事業」の事業概要において、網走厚生病院への支援内容を、これまでの建設資金及び感染症対策に加えて、圏域に不可欠な医療機能の確保、安定的体制構築を支援することの文言の追加です。

4つ目は、ビジョンの45ページ、救急医療体制の確保のために取り組む事業のうち、「公的医療機関支援事業」の事業概要において、網走厚生病院への、脳神経外科を開設するための医療機器等の整備及び運営に伴う費用を負担することの文言の追加です。以上4点を改正しようとするものでございます。

なお、これらの改正のほか、年度ごとの事業費も改正する必要がございますが、現時点において事業費が定かではなく、本日、具体の数値をお示しすることができません。事業費につきましては、確定次第直ちに、今説明した4点と併せて改正しようと考えております。この点につきましても、ご了承賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

(吉田座長)

はい、ありがとうございました。ただ今、事務局より共生ビジョンの一部改正について説明がありましたが、委員の皆様からご意見等を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

ご意見やご質問がないようでしたら、この改正についてご承認いただけますでしょうか。

<「はい」の声あり>

(吉田座長)

それでは、ご提案いただきました共生ビジョンの一部改正について、改正させていただきます。ありがとうございます。

最後になりますが、次第5の「その他」ですが、委員の皆様から何かございませんか。

ないようでしたら、事務局から何かありますでしょうか。

(北村課長)

事務連絡でございます。委員の皆様には、懇談会ご出席にあたり、報酬と交通費を支給させていただいております。報酬等につきましては、年度末にお振込させていただく予定でありますので、ご承知おきください。以上でございます。

(吉田座長)

本日の議事は全て終了となります。

以上をもちまして、第16回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了いたします。皆様、大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。